

7 昭和地区

57 昭三自治会

歴代会長

初代	山田 四郎	昭和29年～	七代	武井 清太郎	十三代	齊藤 公佐
二代	石原 淑太郎		八代	渋谷 喜七	十四代	山中 健
三代	当間 和吉		九代	村瀬 義徳	十五代	石野 正次 平成14年～平成27年
四代	高見澤 善祐		十代	小林 森登	十六代	佐藤 清一郎 平成27年～現在
五代	石原 淑太郎		十一代	齊藤 公佐		
六代	布川 千尋		十二代	石原 明		

歴史

昭和12年～14年に行われた区画整理で昭和通り(昭和39年の東京オリンピック時に「早稲田通り」に改称)が拡張され、交通量の増加や商店街の賑わいととも、昭和通りの両側に位置していた昭和通り三丁目(現在の中野五丁目、新井一丁目、上高田二丁目の一部)の人口も年々増加。しかし、戦争の激化とともに強制疎開や木造建築密集地での取り壊しなどもあり、大規模な戦火は免れたものの、昭和通り三丁目地域の復興には多くの時間が必要だったようです。まだそのような戦後の復興期であった昭和29(1954)年に、「明るく住み良い町づくり」を目指して昭三町会が発足。昭和42年8月には昭三自治会に改組し、現在に至っています。

組織

相談役、会長、副会長、会計、会計監査、総務部・交通部・防犯部・女性部・防火防災部・青年部の各正副部長、子ども会正副会長、1ブロック長～4ブロック長を主要メンバーとして原則月1回の定例役員会を開催。自治会費の集金やお便りの配布等は、多くの皆様のご協力を得ています。

特徴

昭三自治会は、〈中野ブロードウェイ〉から〈もみじやま通り〉まで、早稲田通りに沿った横長の地域です。商店街がマンションやアパートなどの集合住宅に変わり、「向こう三軒両隣」という意識が少しずつ希薄になっています。そのような中でも、氷川神社祭礼は今も昭三自治会の皆さんの連携と親睦を深める、年に一度の大きな催しとなっています。また、青年部の発案で平成11年に始まったファミリー運動会は、平成17年から五町会協賛の行事へと広がりました。

活動

新年会(1月)、交通安全運動(4月・9月)、総会(5月)、五町会ファミリー運動会(6月)、夏休みラジオ体操(7月)、氷川神社祭礼(9月)、昭和地区まつり(10月)、防災訓練(11月)、もちつき(12月)、夜警(年末)、映画鑑賞会(隔月)、バスハイク(隔年)の他、男性・女性・青年部の三班で毎月防犯パトロールを行っています。

これからの課題

世帯数には大きな変動がないにも関わらず自治会の人々が減っているように思われるのは、集合住宅に住む単身世帯が増えていることが要因なのかもしれません。そのためなのか、残念ながら自治会活動に参加される方や、役を担っていただける方が減っています。これからの自治会活動にとっては、より多くの皆さんに参加してもらえるような基盤作りが大きな課題。「住んでよかった」と思えるような地域を目指し、これまでとは何か違う形で参加の呼び掛けを試みる試行錯誤が続くように思います。



氷川神社祭礼・昭三お祭り広場「すみれ公園」